

名古屋徳洲会総合病院 心臓血管外科 術後の会 会報

# ハート通信

## 2006年 No.13



### 第 13 号の紙面

ご挨拶(総長 大橋壯樹より).....	1
第 6 回術後の会開催.....	2・3
術後体験記.....	4
お便り紹介.....	5
トピックス.....	6

編集・発行 年 2 回 発行

名古屋徳洲会総合病院 地域医療部

〒487-0013 春日井市高蔵寺町 2-28-1

Tel : 0568-51-8711

URL : <http://www.nagoya.tokushukai.or.jp>

## ご挨拶



術後の会の皆様へ

寒い日々が続きますが、皆様お元気でしょうか？

昨年 10 月には第 6 回術後の会を勝川プラザホテルで行わせていただき、170 名近い参加で懐かしい方々、お元気になられた方々にお会いできて、楽しい会合となりました。ご出席まことにありがとうございました。そして今年の秋も予定しておりますが、今年は一昨年に行いました日帰り温泉旅行を再度企画しております。皆様のご意見ご要望等遠慮なくお聞かせください。手術後も皆様が健康で明るい生活を過ごされ、この秋にお目にかかれることを心から望んでおります。

昨年は 350 名近い患者様の手術をさせていただきました。大阪でも吉田先生を中心に 200 名近い患者様の手術をさせていただきました。また多くの若い先生方が成長し、今年からは東京西徳洲会病院でも手術をさせていただくことになりました。名古屋徳洲会病院での心臓外科手術がますます拡大することは名古屋での手術が評価されたおかげと思っており、これからも謙虚にかつ愛情を持って手術に望んでいく次第です。

すべての分野も含め心臓外科の分野もますます進歩しております。5 年前は体外循環を用いて心臓を止めていた冠動脈バイパス術も今は心臓を止めない「オフポンプ手術」になりました。



内視鏡手術の様子

また、足または手の血管も内視鏡で採取する方法で行っています。昔は足や手に 20~30 cm の傷口であったものが今では 2 cm ほどになりました。これも術後の会等で多くの手術の患者様のご意見を聞かせていただき、もっと負担の少ない手術を行わなければならないという気持ちから次々と新しい手術方法が生まれてくるものと思います。

ますます進歩する心臓外科手術を見据え、我々徳洲会心臓外科は患者さまのために、日本をリードする心臓外科を目指していきます。そして、医療技術がどんなに進歩しようとも我々の原点でもある患者さまのための医療、患者様への親切な対応を忘れることなく、日々医療に励みたいと思っております。

当院のホームページには心臓血管病を理解しようと題して、心臓血管病についての解説、動脈硬化の予防を公開しております。また、メール医療相談も行っております。是非ご活用ください。

本年も御指導ご鞭撻の程なにとぞよろしくお願い申し上げます。そして皆様のご健康とご多幸をお祈りいたします。

大橋壯樹



# 第6回 心臓血管外科術後の会開催！

## 2005.10.15(Sat) at ホテルプラザ勝川

2005年10月15日(土)、心臓血管外科「第6回術後の会」を開催いたしました。回をかさねるごとに参加人数が増えて、今回は総勢169名の参加となりました。

会場となったホテルプラザ勝川では、会を代表して松原光男さんが乾杯の挨拶をしてくださり、和やかに会はスタートいたしました。

総長 大橋壯樹と管理栄養士 久野史津子による医療講演では、術後の生活重要点や、日頃気をつける健康食について様々な質問が飛び交い、大いに盛り上がりました。

最後に、院長 朝倉貞二の閉会の挨拶の後、参加者全員で記念撮影を行い、来年の再会を約束いたしました。





Oct 15,2005  
At Hotel Plaza Kachigawa

# 術後体験記

晴天の霹靂

**平** 成 12 年の 1 月 2 日の夜中の 3 時頃急に胸が苦しくなり、上から押さえつける様な痛みがはしり、そのうめき声に妻は異常を感じて救急車で病院行きを強く勧めました。

当日は正月で友人達とマージャンをする約束もあり、この痛みは一過性のものと思って病院行きを、ためらっていましたが、痛みは胸から背中にまわり肩が凝るような痛みと変わって行き少しずつ楽になりました。

朝方妻の強い言葉にマージャンを諦め徳洲会病院に行き診察を受けました。病名は「急性心筋梗塞」と言われた時には、まさか自分がこんな病気になるとは夢にも思いませんでした。元来健康で銀行員として最後まで勤めあげ退職後も気楽な勤めをしながら好きなゴルフをしたりし毎年の健康診断も異常は見られず、心臓が悪いと言われたこともありませんでした。強いて言えば近くの開業医より「少し血圧が高い」と言われたぐらいでした。それが突然恐ろしい病気を宣告されてしまいました。まさに晴天の霹靂でした。

**正** 月でも早速専門の治療を受け幸いにも 3 日間程で退院ができました。心筋梗塞と言う病気は寝ている時でも発病する極めて怖い病気で短時間で死んでしまうそうです。あの時自分の楽しみで強引にマージャンをやりに行っていたら今頃はこの世に居なかったかも知れません。それから 1 週間後今度は高熱が出たり痰が多く出て不安となり、自分から病院に行き診察を受けました。血圧の異常な低下で息が苦しくなり同時に意識がもうろうとなり後の事はあまり覚えがありません。

今度は心筋梗塞で心臓の弁がくさって来て「急性僧帽弁閉鎖不全」通称（心臓弁膜症）という病気で人工弁置換の緊急手術となりました。手術は胸を切開しての大手術で、直径が 3 センチ程の人工弁を入れかえる 7 時間に及び大変難しい手術でした。術後も 10 日間集中治療室でお世話になりました。

**振** り返りますと、あの頃は幻覚症状にて今まで見た事のない美しい景色が脳裏に浮かびまさにそれが黄泉の国であったかもしれません。何故かそこに不思議にも葬儀屋が現れまして「葬儀用の遺影はどれにしましょうか。」と聞かれたので

「遺影はイイエいりません。」と断りましたのでこの世に戻って来られたのかもしれませんが。後日に妻にこの話しをしたらその頃先生からは非常に危険な状態で生死の境だと言われた時だったそうです。主治医の先生や集中治療室の看護師さん達の懸命な治療と、身内や友人から「死んでは駄目だ。」「頑張れ」と励ましてもらって、無事戻ってきた次第です。

（松原 光男様）

# お便り紹介

## 病

状発生当日のことを思い出すと、あの苦しみから今の自分がこうして居られることが信じられません。頭のなかでは、このまま「ダメ」かと、気持ちの落ち込みを感じました。

本当に、先生達の素早い判断と適切な処置のおかげで一命を助けていただいたこと、ありがたく感謝の気持ちでいっぱいです。徳洲会では、全てのスタッフが丸となって対応されており、教育に対して「力」を注いでみえることを感じました。看護実習生の方々に対しても、教えて育てるというよりも、看護師・学生、患者同士が共に育っていかうとする「共育」が見受けられ、この病院へ研修に来られた生徒さんは、本当の意味でのビジネスではなく、「仕事」「使命」を学び育たれると思いました。

先生とお話した予定通り、11月28日より仕事の完全復帰となりました。

⑨ 秀

## 皆

様、お元気でお過ごしのことと思います。

小生、7月22日にバイパス術を受け、自分でも信じられない早い回復に驚いております。

今後は、持病の糖尿病の治療、特にカロリー配分に注意し、健康に留意したいと思います。

(Y.N 様)

## こ

この度、入院中は何かとお世話になりまして、厚く御礼申し上げます。退院後、経過良好で、3週間の入院生活は、元気をもらいとてもいい人生勉強になりました。此の末はきんさんぎんさんのように長生きします。ありがとうございました。

(Y.W 様)



# Topics

## ロボット手術研修に行って来ました！

—米カリフォルニア州 UCIメディカルセンター—

平成18年1月3日から4日間、米カリフォルニア州にあるUCIメディカルセンターへ行き、ロボット手術の研修を受けてきました。ロボット手術で使うのは、内視鏡で人間の手のように動くロボットです。病院に附属した実験室には、手術の練習のためのさまざまな器具が多く設置されていました。あらゆる臓器の模型がありましたが非常に精巧で、実践さながらの練習を常時行える環境にとっても驚きました。ここで、ロボットを使用した心臓弁膜症、冠動脈バイパス術を実際に行って来ました。世界最新の医療技術に接することができた4日間でした。将来は、日本のロボット技術で、更に医療に貢献できることに期待しています。

報告者：大橋壯樹



手術で使うロボット



上：ロボット手術の練習の様子

下：実験室の様子

## 当院心臓血管外科が雑誌・新聞等に取り上げられました！

- 宝島社 2005年「全国病院<実力度>ランキング」  
全国ランキング 29位  
中部・北陸・東海ブロック 5位
- 日本経済新聞 2006年1月8日付「バイパス術実力上位病院」  
全国 11位  
中部東海地区 2位
- 読売新聞 2006年1月8日付「病院の実力・心臓外科手術 進む専門化」で紹介
- サンデー毎日 2006年1月19日号「全国の実力医ランキング・心臓外科」  
大橋壯樹医師 全国 11位

